

## 【小施策評価(平成29年度実績評価)】

### 小施策の総合計画における位置付け

基本目標	2	盛岡の魅力あふれるまちづくり	小施策 主管課等	歴史文化課	
施策	11	歴史・文化の継承	評価 責任者	杉本 浩	内線 7350
小施策	11-2	博物館等施設の整備・充実	評価 シート 作成者	福田 淳	内線 7351

### 小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	⇒	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
博物館等施設は、その適切な管理運営と計画的な保全、整備に努める必要がある。		各施設の老朽化対策を進め、必要な施設整備を行う。また、各施設では、その施設の特色を生かした事業を展開し、市民へ学習機会を提供し、歴史や文化に対する理解が深まるような運営を行う。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	⇒	意図(対象をどのようにしたいのか)
市民等、博物館施設		市民に地域の歴史や文化を知ってもらう。

### 小施策の成果指標の達成状況・評価(平成29年度実績)

実績値の推移				実績の評価		
				成果点	⇒	成果の要因分析
指標① 博物館施設入館者数	単 位	目指す方向				
	人	↗				
当初値 (H25) 360,816	H31目標値 361,937	H36目標値 363,437				
<p>・入館者が、前年度に比べ10%以上増加したのは、9施設のうち、先人記念館、遺跡の学び館、てがみ館、都南歴史民俗資料館の4施設であった。</p> <p>・他は、1施設が横ばいで、その他4施設は減少し、9施設全体では6%の減少であった。</p>				<p>・入館者が増加した施設 ターゲットを絞ったPRを行うなど、周知・開催方法を工夫した成果による。また、報道機関等に取り上げてもらえたことがPRにつながっている場合もある。</p> <p>・入館者が減少した施設 最も減少数が大きいのは、もりおか歴史文化館であるが、館前で開催される大規模イベント数が減ったことのほか、館前でのイベントは、気象条件によっても入館者数に影響が出るため、それらが要因となって減少した。</p>		
				問題点	⇒	問題の要因分析
<p>・入館者数の減少。</p> <p>・施設・設備の老朽化が進み、修繕対応が追いつかず、来館者の受入環境が改善できない箇所がある。</p> <p>・施設敷地の樹木の繁茂等、環境改善が容易にはできない箇所がある。</p>				<p>・入館者からは、魅力的でわかりやすい展示説明等をはじめ、使いやすい快適な施設環境の維持・整備が求められる。</p> <p>・用意できる予算は限られており、未対応の修繕箇所が累積している。</p>		

### 今後の方向性(平成30年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…30年度着手済または着手予定 ☆…31年度以降の着手を検討
<p>★ 各種企画展をはじめとする魅力的なイベントの開催のほか、各施設の情報案内・広報の強化を図るとともに、施設外へ出向く「出前講座」の充実に取り組む。</p> <p>★ 国から認定を受ける予定の市の歴史的風致維持向上計画に係る事業を進め、歴史的な、まち並みや、人材、文化への関心を高めるとともに、各博物館施設において、市民等に地域の歴史や文化を伝えられるよう取り組む。</p> <p>★ 施設や設備の修繕、樹木の繁茂等については、優先順位を検討し、計画的に対応していく。</p>	